

話題提供：桜井啓太

(大阪市立大学人権問題研究センター特別研究員)

「自立支援」がもたらす影響と  
変容——労働と福祉の領域から——

無料

4月15日(水)

午後1:30～3:30

人権問題研究センター  
共同研究室

お問い合わせはセンターまで  
06-6605-2035  
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

1990年代以降の日本の労働・福祉施策を語る上で、「自立支援」という理念は避けては通ることのできないものとなっている。高齢福祉、障害福祉、児童福祉、母子福祉、生活保護、中国帰国者援護、ホームレス施策、若者対策(ニート、ひきこもり)など福祉領域全般において「自立支援」概念の取り込みとそれに伴う社会福祉の変容が起きている。これら領域ごとの「自立支援」概念による政策変容(「自立支援の20年」)を辿ることで、この概念の批判的検討を行う。